

令和7年度通常総会

日 時 令和7年5月30日（金）午後3時～
会 場 城山ホテル鹿児島 クリスタルガーデン

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

令和7年度 公益社団法人鹿児島県工業倶楽部通常総会 次第

1 開会

2 会長挨拶

3 来賓挨拶

4 成立宣言

5 議長選出

6 議 事

(1) 議事録署名人選出

(2) 議案

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算の承認について(案)

(監 査 報 告)

7 報告事項

令和7年度事業計画及び予算について

8 閉会

(休 憩)

◇ 講演会

講 演 「全社員の幸せを願って ～新日本科学の人材育成～」

講 師 株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長 永田 良一氏

◇ プレゼンテーション

・(公社)鹿児島県工業倶楽部 理事 嶋原 広高氏

((株)システムビジョン 代表取締役)

「半導体プロジェクトプラザ起ち上げ」

◇ 交流パーティー

【第1号議案】令和6年度事業報告(案)及び決算(案)について

〔事業報告〕

令和6年度の日本経済は、高い賃上げや設備投資など、活発な動きが随所に見られた。賃金を抑制してきた経済から、民需主導の成長型経済への移行が進みつつあり、デフレから脱却したとされている。しかし、一方では人手不足が顕著となり、企業は省力化投資を進めるとともに、労働市場のミスマッチ解消に向けた取り組みが求められている。また、経験豊かな労働者の知識・経験といったストックを有効活用し、少子化が進む中、豊かさを実感できる経済社会の実現が求められる。

鹿児島県の経済は、個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一部において受注回復に遅れがみられ、弱含んでいるほか、雇用情勢は、有効求人倍率が緩やかに低下するなど、持ち直しの動きに弱さがみられるとされている。

鹿児島県工業倶楽部は、異業種の交流推進や、産学官のネットワークによる企業の事業展開につながる支援、さらには、工農水産連携による農林水産業や食品産業の成長・発展への支援など、本県産業の振興や地域経済の発展に貢献することを目的としている。

令和6年度において工業倶楽部は、環境変化に対し、各企業が現状を打破し、新分野展開など事業の再構築や、企業価値を高めることに貢献する情報提供を行うとともに、各委員会、研究会等では、会員が相互にプラスの利益を生み出すビジネスの多様なつながりを生み出す契機となるよう、84プラザ、AIセミナー、八日会等を開催した。「DX」「AI」などデジタル化の推進、SDGsなど様々なキーワードが報道されており、潮流を踏まえた取組が必要である。

産学官の連携という観点からは、鹿児島大学と主催する「第14回食と健康に関するシンポジウム」を開催し、「美容と健康のための腸活」をテーマとして、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科の堀内教授による「歴史を未来に生かす～食と健康～」を基調講演として、情報発信を図った。

さらに、かごしま産業支援センター等と主催する「ベンチャープラザ鹿児島二水会」を開催し、会員企業の(株)九州ハイテック、(株)Bフロンティア等が発表した。

なお、10月には産業会館から林業会館へと事務所の移転を行った。

今後も、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島工業高等専門学校、ベンチャープラザ鹿児島二水会等と

の連携強化を進め、産学官で交流とネットワーク化を図り、会員企業の新たな事業展開につながる取組みを行う。

[主要事業]

1 理事会

- (1) 令和5年度決算に係る監事監査(5/10)
- (2) 正副会長会及び第1回・第2回理事会の開催(5/14)
 - ① 令和5年度事業報告案及び決算案について
 - ② 令和6年度通常総会について
 - ③ 事務所の移転について
- (3) 正副会長会及び第3回理事会を開催(10/15)
 - ① 入会の承認について
 - ② 職務執行状況報告について
 - ③ 新年大会について
 - ④ 「第14回食と健康に関するシンポジウム」「第86回ベンチャープラザ鹿児島『二水会』」について
- (5) 正副会長会及び第4回理事会を開催(3/27)
 - ① 入会の承認について
 - ② 令和7年度事業計画及び収支予算について
 - ③ 令和7年度総会について

2 総会(5/28) 城山ホテル鹿児島

- ① 令和5年度事業報告及び決算の承認について
- ② 令和6年度事業計画及び予算について
- ③ 事務所の移転について
- ③ 講演会
演題「稲盛哲学」
講師 鹿児島大学 理事・副学長 武隈 晃氏
- ④ プレゼンテーション
 - ・奥 浩昭氏「モノづくり企業を経営コンサルタントが支援」
 - ・(株)タナカサトル技術支援 田中 覚氏
「企業連携による成功事例～急激な社会変化を乗り越えるには～」
 - ・かごしま産業支援センター
「公募事業の説明」

3 第14回食と健康に関するシンポジウム

テーマ「美容と健康のための腸活 ～鹿児島県の歴史と先端技術に学ぶ」

(1)日時 令和6年11月20日(水)

(2)場所 鹿児島大学 稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホール

(3)主催 (公社)鹿児島県工業倶楽部、鹿児島大学産学・地域共創センター

(4)内容

基調講演 歴史を未来に生かす ～食と健康～

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授 堀内 正久氏

講演1 「腸活で消化管を健やかに」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 准教授 上村修司氏

講演2 「麴による美容と腸活」

(株)河内源一郎商店 4代目河内源一郎 山元文晴氏

講演3 「鹿児島みその魅力再発見」

鹿児島工業技術センター食品・化学部 主任研究員 加藤由貴子氏

〈会員企業によるポスターセッション〉

① (有)アルファータック

「美と健康の秘訣は腸にあり!! 腸活で絶好腸になろう!!」

② 四元重美氏 (NPO 法人マンガプロジェクト鹿児島)

「絵デカラで伝える力を倍増!!～漫画やイラストを活用したプレゼン方～」

鹿児島大学 医学部 教授 牧迫 飛雄馬氏

(5)参加人数 200名(うちオンライン100名)

(6)後援 九州経済産業局、鹿児島県、(独)中小企業基盤整備機構
南九州事務所、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島市
ほか

5 第86、87回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

新商品・サービス等の展開に当たって、業務提携先や販売先の確保、資金面のサポートなどの橋渡しの場を提供し、企業発展をサポートする。(主催：(公社)鹿児島県工業倶楽部、(公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会)

(1)第86回(令和6年11月13日(水)) ホテル・レクストン鹿児島

① (株)九州ハイテック鹿児島営業所(会員)

「自社開発商品 ファインコートによるコスト削減のご提案」

- ② キリシマ精工(株)
「手術支援ロボット部品製造技術」等の紹介
- ③ 環境バイオエンジニアリング(株)
「サツマイモ基腐病の軽減に向けた微生物資材の開発」

(2)第87回(令和6年2月12日(水)) ホテル・レクストン鹿児島

- ① 鹿児島オリーブ株式会社【日置市】
鹿児島産オリーブを用いたボタニカルコスメの販路開拓
- ② 株式会社ソフト流通センター【鹿児島市】
顔認証システムによる業務効率化及び今後の展望
- ③ 株式会社Bフロンティア【鹿児島市】会員
「細胞から美しく」をコンセプトにした腸活サプリメント等の販路拡大
- ④ 株式会社 Stayway【大阪府】
補助金支援のDXを通じた経営支援サービス「補助金クラウド」

6 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会等を開催し、講演、情報交換などを実施。

令和6年度は新たに「AIセミナー」を開催(2回)した。

プラザ、研究会、部会、委員会の実績は別紙のとおり

7 中小企業知的財産支援事業(経産省補助事業)

(1) 契約日 令和6年7月4日

(2) 概要

知財に関する講演会の開催、相談先等を紹介するリーフレット作成、商品化を支援する協力事務所との意見交換会、3Dプリンターを活用した子ども達がのづくりの楽しさに触れる機会の創出を通じて知財に対する意識の底上げを図る。

(3) 主な取組

① 「夏の発明体験」開催 8月9日(金)～8月10日(土)

(株)エルムにおいて、鹿児島少年少女発明クラブ、薩摩川内市少年少女発明クラブの生徒を対象に、3Dプリンターによるものづくり体験を実施

② 知財セミナー「知的財産の基礎と実践」実施

・日 時 10月30日(水) 14時～16時 会場+オンライン

- ・場 所 ホテルレクストン鹿児島
- ・内 容 「ビジネスに役立つ知識と最新トレンド」
 講師 村上加奈子氏（弁理士、鹿児島大学学長補佐）
 「シルクを素材とした化粧品の開発と医療への応用」
 講師 金蔵拓郎氏（(株)アーダンラボ 代表取締役）
- ③ 商品化・販売の相談の相談先や取組事例を紹介するリーフレットの作成
 仕 様 A4 6ページ（4色）600部 ※HPにも情報を掲載
- ④ 試作品等製造の実績のある協力工場の視察
 日 時 3月3日(月) 参加者 18名
 視察先 ㈱南光（鹿児島市七ツ島）会員

8 中小企業人材育成支援事業（鹿児島県委託事業）

(1) 契約日 令和6年6月26日

(2) 概要

ものづくり企業の若手社員向けセミナー及び指導的立場にある方（上司・先輩社員）向けセミナーを開催し、企業の体質強化を促進するとともに、人脈づくり、仲間意識の醸成、県外への人材流失や離職防止につなげる。

【セミナー概要】

① 若手向けセミナー 11月7日（カクイックス交流センター）

講師 (株)さくら未来研究所 代表取締役 向江 隆行氏

ウェイク・アップシステム代表 水口 毅氏

(株)エルム 代表取締役 宮原隆和氏 他1名

② 指導者向けセミナー 11月8日（同上）

講師 (株)バリューマネージメント 代表取締役 奥 浩昭氏

(株)フォーエバー 東 慎一氏

(株)カクイ 代表取締役 岩元 正孝氏

9 会報の発行

① 第74号（2024年7月）

（内容）総会、会員企業活動、鹿児島大学、産業支援センタートピック
 委託事業紹介、若手後継者紹介 等

② 第75号（2025年3月）

（内容）新年大会、活動（研究会、プラザ）、各種活動・事業紹介、トピック

ク、新会員紹介 等

10 その他関連事業

(1) 鹿児島大学との連携(工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結)

- ・食と健康に関するシンポジウム(再掲)
- ・大学地域コンソーシアム鹿児島 地域連携・就業部会
- ・鹿児島大学工業倶楽部賞(令和6年度2名)

豊福 真也(農林水産学研究科環境フィールド科学専攻2年)

「伊勢エビ幼生・稚エビの着底場および初期生息場造成に関する研究」

山下 燿梨(理工学研究科工学専攻2年)

「小型ハイブリッドロケット搭載用模擬人工衛星の通信システムに関する研究」

(2) 県教育庁との連携(インターンシップ事業講師派遣)

- ・小中学校への会員企業(登録)による講師派遣

現在の登録会員数 6会員

- ・インターンシップ受入企業

現在の登録会員数 6会員

(3) NPO法人鹿児島デザイン協会との連携

「かごしまデザインフェア2025」

①日 時 令和7年3月14日(金)～3月16日(日)

②場 所 かごしま県民交流センター

◇活動実施状況

令和6年 4月10日	八日会開催
5月14日	令和6年度第1回理事会開催
28日	令和6年度通常総会・第2回理事会を城山ホテル鹿児島で開催 令和5年度の事業報告及び収支決算、並びに令和5年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決された。 ・講演 「稲盛哲学」と題し、鹿児島大学理事・副学長 武隈 晃氏が講演 ・プレゼンテーション (株)バリューマネジメント奥浩昭氏 「モノづくり企業を経営コンサルタントが支援」 (株)タナカサトル技術支援 田中覚氏 「企業連携による成功事例～急激な社会変化を乗り越えるには～」 ステムのご提案
7月 8日	八日会開催
8月 9日 ～10日	「3Dプリンターを活用した子ども向け研修会」開催 (株)エルムにて実施)
30日	84プラザを開催し「AI時代を生き残るために」と題して、MINE 石岡美奈子氏が講演
9月 9日	八日会開催
25日	川薩地区プラザ開催
10月 9日	八日会開催
15日	令和6年度第3回理事会開催、県議会産業経済委員会との懇談会開催
23日	事務局移転 (県産業会館 → 県林業会館)
30日	知財セミナー開催 (弁理士 村上加奈子氏、(株)アーダンラボ 金蔵拓郎氏) 「知的財産の基礎と実践～ビジネスに役立つ知識と最新トレンド～」 「シルクを素材とした化粧品の開発と医療への応用」
11月 7日 ～8日	人材育成セミナー開催 (8日まで 県民交流センター) ※7日…新入社員向け 8日…中堅社員向け 県委託事業
13日	「第86回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の(株)九州ハイテックほか2社が発表 (かごしま産業支援センター等と主催)

20日	<p>「第14回食と健康に関するシンポジウム」を鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホールで開催</p> <p>「健康と美容のための腸活」をメインテーマとして講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「歴史を未来に生かす～食と健康～」 鹿児島大学 医歯学総合研究科 教授 堀内正久氏 講演1 「腸活で消化管を健やかに」 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学 准教授 上村修司氏 講演2 「麹による美容と腸活」 (株)河内源一郎商店 4代目河内源一郎 山元文清氏 講演3 「鹿児島みその魅力再発見」 鹿児島県工業技術センター 主任研究員 加藤由貴子氏
12月10日	八日会開催
1月22日	<p>令和7年新年大会を城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県内企業の『稼ぐ力』の向上支援について」と題し、鹿児島県商工労働水産部 北村貴志部長が講演 ・プレゼンテーション (株)デックソリューションズ 藏菌昭二氏 「モノづくり企業を経営コンサルタントが支援」 (株)システムビジョン 嶋原広高氏 「AI外観検査の未来を探る」
28日	九州各県工業団体事務局会議（福岡市開催）
31日	AIセミナー開催 「最先端AI外観検査セミナー&制御機器展示会」
2月12日	「第87回ベンチャープラザ鹿児島二水会」をホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員企業の株Bフロンティアほか3社が発表（かごしま産業支援センター等と主催）
12日	八日会開催
27日	川薩地区プラザ開催
3月 3日	企業視察訪問（知財取得後の試作品製作・商品化の参考となる視察）（於：(株)南光）
7日	八日会開催
19日	正副会長会開催
25日	AIセミナー開催 「売り上げアップのためSNSセミナー」
27日	正副会長会・理事会を開催

◇各種会合等一覧表

月	総会・理事会 正副会長会	委員会等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
令和 6年 4月			八日会	1
5	正副会長会 理事会 総会			3
6				
7		総務・広報委員会 特命委員会	八日会	3
8			3Dプリンター研修会、84プラザ	2
9		特命委員会	八日会 川薩地区プラザ	3
10	正副会長会 理事会	総務広報委員会 渉外委員会	八日会、知財セミナー	6
11		特命委員会	人材育成セミナー（新入社員・中堅社員）、 ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、 「第14回食と健康に関するシンポジウム」	4
12			八日会	1
令和 7年 1月		総務広報委員会 渉外委員会 事業委員会	新年大会、九州各県工業団体事務局会議、 AIセミナー	6
2			八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、 川薩地区プラザ	3
3	正副会長会 理事会	総務広報委員会 事業委員会	八日会、企業視察訪問、中小企業支援機関連携 会議、AIセミナー	8

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広 報委員会	7月	会報No.74号を作成・発送	鹿児島県 産業会館
	10月23日	事務所移転	林業会館
	1月 8日	官公庁・マスコミ年始まわり	県庁他
	3月	会報No.75号を作成・発送	鹿児島県 産業会館
渉外 委員会	10月15日	県議会産業経済委員会、県商工労働水産部、工業倶楽部の合同懇談会を開催	ホテル中原 別荘
	1月22日	新年大会において交流会を開催	城山ホテル 鹿児島
特命 委員会	7月 1日	食と健康に関するシンポジウム 第1回 打合せ	鹿児島大学
	9月 4日	食と健康に関するシンポジウム 第2回 打合せ	鹿児島大学
	11月 7日 ～8日	人材育成セミナーを開催	カクイックス 交流センター
	11月20日	食と健康に関するシンポジウムを開催	鹿児島大学
事業 委員会	1月31日	AIセミナー（外観検査）を開催	マークメイザン
	3月25日	AIセミナー（SNSセミナー）を開催	マークメイザン

◇ 地区プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
北薩地区	9月25日	講演 「知的財産を活用して稼ぐ力を向上させる」 講師 九州経済産業局	川内ホテル
北薩地区	2月27日	講演 「デジタル時代に即した組織づくりと人材 教育・活用」講師 MINE 代表 石岡美奈子氏	川内ホテル

◇ プラザ活動実績

八日会	4月10日	近況報告、情報交換	シェラトン ホテル鹿児島
	7月 8日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	9月 9日	近況報告、情報交換	ホテルレクストン
	10月 9日	近況報告、情報交換	さつま味市場
	11月 8日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	12月10日	近況報告、情報交換	シェラトン ホテル鹿児島
	2月12日	近況報告、情報交換	サンロイヤルホテル
	3月 7日	近況報告、情報交換	素敵庵本店
84 プラザ	8月30日	(1) 講演：「AI時代を生き残るために」 講師：MINE 代表 石岡 美奈子氏	マークメイザン

(1-1) 貸借対照表

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,720,059	7,197,981	△ 4,477,922
未収金	6,034,696	5,160,744	873,952
未収消費税	307,700	0	307,700
流動資産合計	9,062,455	12,358,725	△ 3,296,270
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,760,000	9,520,000	240,000
基本財産合計	9,760,000	9,520,000	240,000
(2) 特定資産			
部会・プラザ等活動活性化促進資産	677,849	677,493	356
特定資産合計	677,849	677,493	356
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,801	72,801	0
固定資産合計	10,510,650	10,270,294	240,356
資産合計	19,573,105	22,629,019	△ 3,055,914
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	3,500,000	3,500,000	0
未払金	196,807	624,706	△ 427,899
預り金	183,946	496,712	△ 312,766
前受会費	0	10,000	△ 10,000
未払消費税等	0	685,800	△ 685,800
流動負債合計	3,880,753	5,317,218	△ 1,436,465
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,880,753	5,317,218	△ 1,436,465
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	15,692,352	17,311,801	△ 1,619,449
(うち基本財産への充当額)	(9,760,000)	(9,520,000)	(240,000)
(うち特定財産への充当額)	(677,849)	(677,493)	(356)
一般正味財産合計	15,692,352	17,311,801	△ 1,619,449
正味財産合計	15,692,352	17,311,801	△ 1,619,449
負債及び正味財産合計	19,573,105	22,629,019	△ 3,055,914

(2-1) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	当	年	度	前	年	度	増	減
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益								
基本財産利息収入		2,230			186			2,044
② 特定資産運用益								
特定資産利息収入		356			4			352
③ 受取入会金								
入会金		240,000			60,000			180,000
④ 受取会費		9,482,500		9,827,500				△ 345,000
正会員		8,082,500		8,427,500				△ 345,000
10,000円×34会員		340,000		400,000				△ 60,000
30,000円×35会員		1,050,000		1,170,000				△ 120,000
55,000円×14会員		770,000		825,000				△ 55,000
80,000円×34会員		2,720,000		2,640,000				80,000
105,000円×12会員		1,260,000		1,365,000				△ 105,000
130,000円×5会員		650,000		650,000				0
155,000円×8会員		1,240,000		1,240,000				0
新規会員×8会員		52,500		137,500				△ 85,000
								計150会員
賛助会員会費		1,400,000		1,400,000				0
100,000円×10会員		1,000,000		1,000,000				0
200,000円×2会員		400,000		400,000				0
								計12会員
⑤ 受取補助金		200,000		200,000				0
令和6年度指導団体助成金(鹿児島市)		200,000		200,000				0
⑥ 受取負担金		665,500		662,500				3,000
総会懇談会負担金		352,000		371,000				△ 19,000
新年大会懇談会負担金		313,500		291,500				22,000
⑦ 事業収入		8,168,906		29,916,698				△ 21,747,792
知財総合支援窓口運營業務		0		29,916,698				△ 29,916,698
【九州経済産業局】中小企業等知的財産活動支援事業		5,932,196		0				5,932,196
【鹿児島県】県内中小企業人材育成支援事業		1,436,710		0				1,436,710
【(一社)鹿児島県発明協会】業務委託料		800,000		0				800,000
⑧ 雑収益		43,440		45,070				△ 1,630
経常収益計		18,802,932		40,711,958				△ 21,909,026

(2-1) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	当	年	度	前	年	度	増	減
(2) 経常費用								
① 事業費				4,385,067		20,387,006		△ 16,001,939
給料手当				0		10,003,810		△ 10,003,810
賃料				0		1,187,390		△ 1,187,390
福利厚生費				3,686		1,637,246		△ 1,633,560
表彰費				20,680		21,820		△ 1,140
委託費				842,050		0		842,050
旅費交通費				98,020		1,341,865		△ 1,243,845
通信運搬費				96,427		444,732		△ 348,305
消耗品費				19,411		421,852		△ 402,441
印刷製本費				571,590		238,975		332,615
会議費				877,358		921,137		△ 43,779
諸謝金				319,000		11,023		307,977
賃借料				793,140		1,772,057		△ 978,917
支払負担金				234,000		234,000		0
広告料				0		542,500		△ 542,500
支払利息				0		43,839		△ 43,839
租税公課				360,100		1,382,850		△ 1,022,750
支払保険料				2,000		0		2,000
雑費				147,605		181,910		△ 34,305
② 管理費				15,857,314		19,598,572		△ 3,741,258
給料手当				10,882,013		14,779,919		△ 3,897,906
賃料				40,320		21,000		19,320
福利厚生費				1,780,252		2,079,799		△ 299,547
退職金掛金				288,000		288,000		0
旅費交通費				4,020		12,860		△ 8,840
通信運搬費				286,066		271,916		14,150
消耗品費				506,024		540,103		△ 34,079
印刷製本費				344,300		344,300		0
諸謝金				11,023		11,023		0
賃借料				1,124,795		1,058,949		65,846
支払手数料				402,500		0		402,500
支払利息				18,615		0		18,615
租税公課				38,400		2,100		36,300
雑費				130,986		188,603		△ 57,617
経常費用計				20,242,381		39,985,578		△ 19,743,197
当期経常増減額				△ 1,439,449		726,380		△ 2,165,829
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計				0		0		0
(2) 経常外費用				180,000		0		180,000
徴収不能会費				180,000		0		180,000
経常外費用計				180,000		0		180,000
当期経常外増減額				△ 180,000		0		△ 180,000
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)				△ 1,619,449		726,380		△ 2,345,829
他会計振替額				0		0		0
一般正味財産期首残高				17,311,801		16,585,421		726,380
一般正味財産期末残高				15,692,352		17,311,801		△ 1,619,449
Ⅲ 正味財産期末残高				15,692,352		17,311,801		△ 1,619,449

正味財産増減計算内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
(2) 経常費用				
① 事業費	2,597,980	0	1,787,087	4,385,067
福利厚生費	3,686		0	3,686
表彰費	20,680		0	20,680
委託費	842,050		0	842,050
旅費交通費	26,900		71,120	98,020
通信運搬費	70,190		26,237	96,427
消耗品費	18,811		600	19,411
印刷製本費	473,690		97,900	571,590
会議費	165,978		711,380	877,358
諸謝金	319,000		0	319,000
賃借料	305,840		487,300	793,140
支払負担金	0		234,000	234,000
租税公課	335,200		24,900	360,100
支払保険料	2,000		0	2,000
雑費	13,955		133,650	147,605
② 管理費	13,081,931	0	2,775,383	15,857,314
給料手当	9,545,935		1,336,078	10,882,013
賃金	32,256		8,064	40,320
福利厚生費	1,351,110		429,142	1,780,252
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
旅費交通費	2,814		1,206	4,020
通信運搬費	200,248		85,818	286,066
消耗品費	354,216		151,808	506,024
印刷製本費	241,010		103,290	344,300
諸謝金	7,716		3,307	11,023
賃借料	787,357		337,438	1,124,795
支払手数料	281,750		120,750	402,500
支払利息	13,030		5,585	18,615
租税公課	0		38,400	38,400
雑費	91,689		39,297	130,986
経常費用計	15,679,911	0	4,562,470	20,242,381
	0			
当期経常増減額	△2,586,126	0	1,146,677	△1,439,449
2. 経常外増減の部	0			
(1) 経常外収益	0			
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	90,000	0	90,000	180,000
徴収不能会費	90,000	0	90,000	180,000
経常外費用計	90,000	0	90,000	180,000
当期経常外増減額	△90,000	0	△90,000	△180,000
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△2,676,126	0	1,056,677	△1,619,449
他会計振替額	452,575		△452,575	0
一般正味財産期首残高	13,545,666		3,766,135	17,311,801
一般正味財産期末残高	11,322,115	0	4,370,237	15,692,352
Ⅲ 正味財産期末残高	11,322,115	0	4,370,237	15,692,352

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,520,000	240,000	0	9,760,000
小計	9,520,000	240,000	0	9,760,000
特定資産				
部会・プラザ等活動活性化促進資産	677,493	356	0	677,849
小計	677,493	356	0	677,849
合計	10,197,493	240,356	0	10,437,849

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	9,760,000	(0)	(9,760,000)	—
小計	9,760,000	(0)	(9,760,000)	—
特定資産				
部会・プラザ等活動活性化促進資産	677,849	0	677,849	—
小計	677,849	(0)	(677,849)	—
合計	10,437,849	(0)	(10,437,849)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和6年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合計		0	200,000	200,000	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載
2. 引当金の明細
引当金なし

(4)

財産目録
令和7年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
現金預金		鹿児島銀行本店No. 1350394	運転資金	871,511
		鹿児島銀行本店No. 3087965 (九経局)	運転資金	868,959
		南日本銀行本店No. 484160	運転資金	901,992
		鹿児島銀行 本店 No. 1681505 (県事業)	運転資金	77,597
			小計	2,720,059
未収金	受取会費	令和6年度会費		62,500
	受取入会金	令和6年度入会金		30,000
	事業収入	九州経済産業局補助金収入		5,932,196
	雑収入	会報第75号広告掲載料		10,000
			小計	6,034,696
	未収消費税		小計	307,700
	他会計貸付金		小計	0
流動資産合計				9,062,455
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 本店① 4174746	公益目的及び管理目的としての 共有財産 鹿銀①公益目的79.4%/管理目的 20.6%	3,760,000
		鹿児島銀行 本店② 4138426	鹿銀②・相信 公益目的82.2%/管理目的17.8%	3,000,000
		鹿児島相互信用金庫 本店 1640544		3,000,000
				0
			小計	9,760,000
特定資産	普通預金	鹿児島銀行本店 No. 3170092	部会・プラザ等活動活性化促進資産	677,849
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1
	電話加入権	099-225-8012 他 4回線		72,800
				小計
固定資産合計				10,510,650
資産の部 合計				19,573,105
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		3,500,000
未払金	3月分社会保険料	健康保険・厚生年金・子ども手当拠出金		105,128
	消耗品費	(株)久永		17,532
	通信運搬費	インターネット使用料、ゆうメール料金		38,972
	会議費	令和6年度第3回理事会懇談会費		9,780
	賃借料	令和6年度第3回理事会会場代		22,000
	福利厚生費	R6年度確定労働保険料差額		3,395
			小計	196,807
他会計借入金	他会計借入金		小計	0
預り金	預り金	3月分社会保険料	職員分預り	102,680
		3月分源泉税所得税	謝金	3,266
		令和6年度第4回理事会	懇談会費預かり金	78,000
		小計	183,946	
未払消費税等	鹿児島税務署	R6年度消費税及び地方消費税		0
他会計振替 (繰越残高調整)				0
流動負債合計				3,880,753
固定負債合計				0
負債の部 合計				3,880,753
正味財産額				15,692,352
負債及び正味財産合計				19,573,105

監 査 報 告 書

令和7年5月1日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部

会長 岩 元 正 孝 殿

監事

餅 田 淳 一 

監事

森 直 樹 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

【報告事項】 令和7年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

我が国は、本格的な人口減少や危機的な少子化の進行、経済のグローバル化や急速な技術革新の進展、生成A I やカーボンニュートラル、そして賃上げへの動きなど大きな変革期の中にある。

また、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)には多くの企業が賛同し、これに対応しようという取組が盛んになっている。

工業倶楽部は、製造業の競争力の強化及び本県の基幹産業である農業、水産業との連携や、将来を担う新産業の創出に取り組み、今後も様々な団体との協働を深め、異業種交流を深化させ、パートナーシップによるビジネスチャンスを拡大するために、デジタル技術を活用し、DXを推進し、大きく変化する経営環境や状況に対応できる企業の成長に貢献することを目指す。

特に生成A I は急速に進化を続けており、ChatGPTをはじめ、Co-pilot、Gemini など様々なモデルが開発されている。今後、活用は必須となることから、動向に留意しつつ、セミナー等でも取り扱う必要がある。

また、今後の成長が見込まれる情報通信関連や環境・新エネルギー、ロボット関連分野への取組み、熊本で量産を開始したT SMCの動向等も注視する必要がある。

平成2年以降事務所を設置してきた県産業会館は、令和6年10月に県林業会館に移転した。新しく整備された鹿児島県中小企業会館にも近く、引き続き関係機関との連携を図っていく必要がある。

さらに倶楽部の活動の充実の観点から、会員企業の確保は必須であり、会員加入促進への取組みとともに、魅力あるセミナーの開催など財源確保を図ることが重要となっており、これらに一体的に取り組む必要がある。

さらに、国及び県並びに鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内の産業振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開する。

2 主要事業

(活性化事業)

- | | |
|-----------------|------------|
| ① 公募事業等への取組み | 【特命委員会】 |
| ② 企業変革に繋がる事業の推進 | 〃 |
| ③ 新規会員の加入促進 | 【総務・広報委員会】 |
- (緊急) 新規加入促進キャンペーン(5月～9月)

理事におかれては1法人会員(個人3会員)の獲得を目標

(異業種交流事業)

- ① 時代を先取りする異業種交流事業の実施【事業委員会】
 - ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等の促進による経営基盤の強化
 - ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等多分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発を促進
- ② 県外の工業団体等との交流促進【渉外委員会】
 - ・九州内の工業団体等の交流による情報交換及び連携
 - ・鹿児島大学、第一工科大学、かごしま産業支援センター、県工業技術センター、二水会との連携
 - ・県外産業界等との交流による会員の事業拡大、資質向上の促進
- ③ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進【事業委員会】
- ④ 農業、林業、水産業と連携した産業育成に向けての研究
- ⑤ IoT や AI などデジタル技術等を活用した新たな事業展開の研究
 - ・84プラザ 地域プラザ ITセミナーなどの活性化

(産・学・官連携事業)

- ① 鹿大との交流連携の推進
 - ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる事業化支援【渉外委員会】
 - ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催【特命委員会】
- ② かごしま産業支援センターとの連携推進
- ③ 若者就職活動に関するサポート活動の強化【特命委員会】
 - ・インターンシップの支援
- ④ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応【渉外委員会】
 - ・鹿児島工業高等専門学校との連携強化

(広報・デザイン開発事業)

- 工業倶楽部のイメージアップ及び知名度拡大【総務・広報委員会】
- ・県、県議会、マスコミ等との交流推進
 - ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、HP等の活用による事業連携及び知名度アップ

(3-1) 収支予算書 (損益ベース)

正味財産増減予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	20,000	188	19,812
② 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	600	4	596
③ 受取入会金			
入会金	150,000	90,000	60,000
④ 受取会費	9,640,000	9,970,000	△ 330,000
正会員	8,240,000	8,570,000	△ 330,000
10,000円×35会員	350,000	410,000	△ 60,000
30,000円×47会員	1,410,000	1,230,000	180,000
55,000円×14会員	770,000	825,000	△ 55,000
80,000円×32会員	2,560,000	2,720,000	△ 160,000
105,000円×12会員	1,260,000	1,365,000	△ 105,000
130,000円×5会員	650,000	780,000	△ 130,000
155,000円×8会員	1,240,000	1,240,000	0
計153会員			
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金			
令和7年度指導団体助成金 (鹿児島市)	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金	1,050,000	1,050,000	0
総会懇談会負担金	525,000	525,000	0
新年大会懇談会負担金	525,000	525,000	0
⑦ 受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
⑧ 雑収益	50,000	50,000	0
受取利息等収入	50,000	50,000	0
			0
経常収益計	12,110,600	11,360,192	750,408

正味財産増減予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	2,270,000	2,223,000	47,000
給料手当	0	0	0
賃金	0	13,000	△ 13,000
福利厚生費	0	0	0
表彰費	35,000	35,000	0
旅費交通費	110,000	129,000	△ 19,000
通信運搬費	110,000	30,000	80,000
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	170,000	110,000	60,000
会議費	870,000	920,000	△ 50,000
諸謝金	20,000	20,000	0
賃借料	510,000	560,000	△ 50,000
支払負担金	234,000	234,000	0
広告料	20,000	10,000	10,000
支払利息	36,000	7,000	29,000
租税公課	23,000	23,000	0
雑費	132,000	132,000	0
② 管理費	10,023,000	13,562,000	△ 3,539,000
給料手当	6,392,000	8,700,000	△ 2,308,000
福利厚生費	1,070,000	1,450,000	△ 380,000
退職金掛金	288,000	288,000	0
賃金	20,000	0	20,000
旅費交通費	40,000	69,000	△ 29,000
通信運搬費	313,000	270,000	43,000
消耗品費	350,000	350,000	0
印刷製本費	360,000	360,000	0
諸謝金	20,000	20,000	0
賃借料	1,060,000	1,200,000	△ 140,000
支払手数料	0	740,000	△ 740,000
租税公課	2,000	2,000	0
雑費	108,000	113,000	△ 5,000
経常費用計	12,293,000	15,785,000	△ 3,492,000
当期経常増減額	△ 182,400	△ 4,424,808	4,242,408
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△ 182,400	△ 4,424,808	4,242,408
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 182,400	△ 4,424,808	4,242,408
一般正味財産期首残高	15,692,352	17,311,801	△ 1,619,449
一般正味財産期末残高	15,509,952	12,886,993	2,622,959
Ⅲ 正味財産期末残高	15,509,952	12,886,993	2,622,959

正味財産増減予算内訳書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
(2) 経常費用				
① 事業費	385,000	0	1,885,000	2,270,000
給料手当	0		0	0
賃金	0		0	0
表彰費	35,000		0	35,000
旅費交通費	60,000		50,000	110,000
通信運搬費	90,000		20,000	110,000
消耗品費	0		0	0
印刷製本費	60,000		110,000	170,000
会議費	100,000		770,000	870,000
諸謝金	20,000		0	20,000
賃借料	0		510,000	510,000
支払負担金	0		234,000	234,000
広告料	20,000		0	20,000
支払利息	0		36,000	36,000
支払手数料	0		0	0
租税公課	0		23,000	23,000
雑費	0		132,000	132,000
② 管理費	7,518,800	0	2,504,200	10,023,000
給料手当	5,114,000		1,278,000	6,392,000
福利厚生費	642,000		428,000	1,070,000
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
賃金	16,000		4,000	20,000
旅費交通費	28,000		12,000	40,000
通信運搬費	220,000		93,000	313,000
消耗品費	245,000		105,000	350,000
印刷製本費	250,000		110,000	360,000
諸謝金	14,000		6,000	20,000
賃借料	740,000		320,000	1,060,000
支払手数料	0		0	0
租税公課	1,000		1,000	2,000
雑費	76,000		32,000	108,000
経常費用計	7,903,800	0	4,389,200	12,293,000
当期経常増減額	△ 1,773,200	0	1,590,800	△ 182,400
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△ 1,773,200	0	1,590,800	△ 182,400
他会計振替額	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,773,200		1,590,800	△ 182,400
一般正味財産期首残高	11,322,115		4,370,237	15,692,352
一般正味財産期末残高	9,548,915	0	5,961,037	15,509,952
Ⅲ 正味財産期末残高	9,548,915	0	5,961,037	15,509,952

◇ 講演

演 題：全社員の幸せを願って

～新日本科学の人材育成～

講 師：株式会社新日本科学

代表取締役会長兼社長

永田 良一氏

(CEO 兼 グループ財務管掌・水産事業管掌

兼 CHO (最高健康責任者)



【職歴】

株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長、一般社団法人 メディポリス医学研究所 理事長、学校法人ヴェリタス学園 理事長、SNBL U.S.A., Ltd. (Chairman、Board of Directors)、在鹿児島ブータン王国名誉総領事(中国、四国、九州・沖縄担当)などを務める。

【学歴】

聖マリアンナ医科大学(医師)、鹿児島大学大学院医学研究科(医学博士)、高野山大学大学院文学研究科(密教学修士)。

【社会活動】

学校法人 聖マリアンナ医科大学 理事、学校法人 順天堂 理事、学校法人 高野山学園 評議員、公益財団法人 日中医学協会 理事、一般社団法人日本予防医学会 理事、一般財団法人 難病治療開発機構 理事、一般社団法人マンダラプロジェクト 理事、中国煙台大学 客員教授、University of Maryland Baltimore 客員教授を兼務する。また、北海道大学、金沢大学、東京医科大学、高知大学などの招聘/臨床/客員教授、京都大学経営管理大学院 Integrated Hospitality (IH)教育プログラム開発研究会委員、鹿児島大学経営協議会学外有識者委員・学長選考会議委員、内閣府委員などを歴任。

【資格】

日本臨床薬理学会 指導医、日本毒性学会 認定トキシコロジスト、日本予防医学会 指導医、Fellow of the Faculty of Pharmaceutical Medicine of the Royal Colleges of Physicians (FFPM, UK)など。

【表彰】

女性が輝く先進企業表彰「内閣総理大臣表彰」、厚生労働大臣優良賞「均等・両立推進企業部門」、鹿児島県女性活躍推進優良企業知事賞、鹿児島商工会議所「産業経済賞大賞」、南日本新聞社「第 54 回南日本文化賞産業部門」、日本経済新聞社(国土庁共催)「地域活性化貢献企業賞」、全国労働基準関係団体連合会「ゆとり創造賞」、公益財団法人MBC島中文化基金「MBC 賞」、中華人民共和国広東省高要市「名誉市民」、紺綬褒章(褒状)、ブータン王国「国家功労勲章一等金メダル(National Order of Merit Gold Medal)」

【著書】

大切にしたい働くこころーその尊きちから(同文館出版)、“幸福の国”ブータンに学ぶ 幸せを育む生き方(同文館出版)、新・資本主義宣言、7 つの未来設計図(毎日新聞社、共著)、心を洗う 断捨離と空海(かざひの文庫、共著)、「がん」を切らずに治す陽子線治療「乳がん治療」の新たな挑戦(PHP 研究所)など。